

令和6年度 第1回 小野申人といきいきトーク

と き 令和6年8月20日（火）18:00～19:30

ところ 国府公民館

テーマ 民生委員・児童委員さんを通して地域の状況や想いを聴く

出席者 市長、民生委員児童員9名、近藤福祉課長、宇野政策企画課長

（市長挨拶）

民生委員児童委員1期目の方に、1期の半ばではありますが、経験される中でいろんなご意見をいただければと思います。

いろいろ活動をしていただく中で、気づかれたこと等がございましたら、遠慮なくお話を聞かせていただければと思っております。

（民生委員・児童委員になられた経緯）

- ・町内会長をしていた時に民生委員さんが辞められるということで、1年ぐらいアタックいただき受けた。
- ・市から連絡いただいて、できることであればと引き受けた。
- ・前任者が病気で交代が必要というので、地域のためにすごく頑張られている方が頼みに来られて、断ったらいけない気がして、任期まではやろうと思い受けた。
- ・民生委員を15年やられた方が辞めたいとのことで、その方が協力員で残って半分するからというので受けた。
- ・断る理由がなかったので受けた。
- ・現職時代の先輩から声がかかり、両親の介護も終わり、70ぐらいの年齢でひとアクション起こさないといけないという感覚で受けた。子供と関われるのが魅力で、中身はわからないまま主任児童委員を引き受けた。
- ・20年近くされていた前任が引越されて、最初は孫とか同居の母のことで断っていたが、そろそろ人の役に立つことをしようと思い引き受けた。

（活動の感想）

- ・民生委員の仕事はお年寄りから子供まで範囲が広くなかなか全部手が回らない状況。
- ・コロナが収束したころから、入学式や卒業式、運動会とかに呼んでもらい、子供や保護者と言葉を交わすなどまずは知ってもらうことからやっている。今年、未来プロジェクトで、民生委員児童委員の活動を6年生の子供たちに知ってもらう機会ができた。
- ・予備知識もなく受けて、子供にも関わる必要があるということを知った。高齢者への訪問で手いっぱい、子供への関わりが持てていないという反省がある。
- ・いろいろな案件をどこへ相談すればいいかが何となくわかってきた。先輩の民生委員さんも相談するとすぐ回答してくださるし、市の担当者へも連絡できるようになったので、1人で抱え

込んでしまうようなことは今のところない。

- ・限られた人間にしか会いに行けてないし、皆さんに平等のサービスをできてないのは心苦しい。民生委員の仕事の境界が分かりにくく、行政で示してもらえると動きやすい。
- ・入学式、卒業式、授業でも、感動したり、来させてもらってよかったなど感じた。
- ・学校の連携会で、校長や生徒指導が主任児童委員と民生委員へ心が折れそうな現実を語られて協力を求められるが、手を差し伸べたいが手の届かないもどかしさを感じている。
- ・近所のことなら分かると思っていたけど、見えてなかった。一人暮らしのお年寄りが多いことに驚いたが、何回か足を運ぶにつれていろんなことを話してくださるようになって、話し相手を待っておられると感じた。
- ・60代で障害持っている方や引きこもりの方にはなかなか関われない。インターホンを鳴らしても出て来られなかったり、名刺を入れても反応がない。
- ・民生委員は守秘義務があると言われるが、情報は提供されないことが多い。今の私たちが不信を抱いていると次に繋がらない。私らがいきいきと民生委員の仕事をしていたら、それを見て次の人も変わってくると思う。
- ・一緒に活動する仲間が増えたり人のつながりができることや、研修とかで自分が高まったらやってよかった、得るものがあつたなど感じられる。
- ・配偶者が亡くなって一人になったとき、町内会の仕事とか地域の溝掃除とかを1人ではできないからと組を辞められる方がいるが、組のセーフティネットワークからも漏れる状況になって、近所の方も組を辞めちゃったからみたいな感じで、一人一人が分断されてバラバラになってきているのを感じる。

（民生委員の業務）

- ・訪問後に帰ってパソコン入力をするが、タブレットがあればその場で世帯台帳を作成できるので、タブレットの支給をお願いしたい。
- ・民生委員の活動内容が少し曖昧と思う。何でも民生委員という形になっているので、行政から、民生委員はこれをやってと指示された方が活動しやすい。
- ・社協から敬老会の名簿がきてチェックするが、去年載っていた人が今年載っていない場合、去年おられた施設へ電話しても、個人情報だからと教えてもらえないのでチェックに困る。
- ・サスケという一人暮らしの方を見守る機械（ブザーを押したら緊急連絡）の設置には、民生委員の署名が必須で、民生委員に空席があるのはとても問題だと思った。

（民生委員と町内会の関わり）

- ・民生委員は、地域の高齢者、児童の見守りが大変優れていて、民生委員がいないと町内会の組織は成り立たない。町内会もあらゆることに対応しているが、民生委員の知識が大変必要で頼りにしているのが町内会組織で、民生委員さんも大変苦しいと思うけど、町内会への関わりはしていただかなくちゃならないと思っている。

その他ご意見

(空き家)

- ・空き家が出てきて、田んぼの所有者が草を刈らずに伸び放題になって、民生委員に声がかかるけど手の出しようがない。何年も草ぼうぼうで、跡継ぎは広島の方で来られないから、気づいた近所の人が自分の範囲で刈れるぐらいを刈っている。

(衣類バンク)

- ・独居老人、生活の困窮者の方、数名おられるけど、パジャマがバリバリで洗剤で洗ってないのではと思うほどきついにおいがする。衣類バンクを積極的に行っていただきたい。食料の充実や、衣類の充実、新品でなくても洗って出していただければ助かる。

(サロン)

- ・お茶の間サロンやいきいきサロンで声をかけるが同じ人が来られる。出てきてほしいと思う人が出てこない。小学生や小さい子は、イベントとかがないと出てこないのてどういう子がいるかわからない。お茶の間サロンのイベントで、夏休みの宿題を見るボランティアや、カレーとかカキ氷を無料で振る舞ったら、子供が親と一緒に 100 人ぐらいきた。

(放課後児童クラブ)

- ・安心して子供を預けて働きたいということで、放課後児童クラブに夏休みだけ行ったりする子の親もありがたいと言っているが、開設時間が 8 時で、預けて仕事に行ったら仕事が間に合わないから、8 時前に子供がいっぱい並んでいる。何とかやりくりしてもらって、少しでも早く開けてもらおうと安心して仕事に行けると言っておられた。

(ゴミ収集)

- ・お盆でゴミの収集が 1 回減ると、おむつが 1 週間分溜まって不衛生で困ると言っておられた。生ゴミは冷凍庫に入れているが、おむつはさすがに厳しいと言われていた。

(地区のイベント)

- ・イベントで地域がつながることは多い。お年寄りやいろんな子供が出てくるのを見たりするとすごく大事だと思う。今は衛生上の問題で難しくなっていて、これもあれもできないとなったら、そういう機会は減ってくる。
- ・イベントをやろうと思っても、補助金が削減されて負担が増えているので、そういうのが少しでもあればありがたい。